

第7回県立高等学校編成整備に関する懇話会概要

開催した会議の名称	第7回県立高等学校編成整備に関する懇話会
開催日時	平成23年11月1日（火）14：00～17：00
開催場所	（所在地）〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 （会場名）沖縄県庁12階第2会議室
出席者	委員（懇話会会長）前泊委員 （懇話会会長代理）前新委員 北川委員、城間委員、宮城委員、三村委員 事務局（総務課） 大城総務課長、嘉数企画監、 渡久山主任指導主事、桃原指導主事 （県立学校教育課） 山城班長、與那嶺班長、小成主任指導主事
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の人数	一人
会議の概要	1、開会（前泊） 2、総務課長あいさつ 3、事務局説明 （1）第6回懇話会終了後からの経緯について （2）概要と実施計画【素案】について
	<p><b>&lt;主な質疑&gt;</b> 経緯について</p> <p>○2Pの那覇中等教育学校について、懇話会では「那覇地区以外でも」検討するという事だったと思うが、抜けているのではないか。 【回答】→那覇に限ったものではないので、素案では那覇を削除した。</p> <p>○パブコメではどういう意見があったのか。 【回答】→編成整備の内容に関する意見はなかった。生徒指導や学校の姿勢等についてであった。 団体意見は60件で、校長、市町村教委、高教組、PTAからもいただいている。ご意見に対するこちらの考え方は、HPに掲載してある。基本方向に反映する、しない、関わるものと、実施計画で検討するもの、通常の学校教育に関するものなどがあつた。</p> <p>○基本方向は我々の協議とは違った形でまとめられているが、これから実施計画の中で議論することになる。</p> <p><b>実施計画（素案）について</b> 事務局から（素案）の説明のあと、質疑応答の形で進めた。</p> <p>○生徒数の減少で統廃合を進める必要はあると思うが、統廃合には財政の効率化があると思うがどれぐらいの効果がある</p>

か。また、再編統合は、フューチャースクールなど新しい学校をつくるためのものか。それともただ減らしていくのか。

【回答】→財政的なこともある。予算的なことは、概算としては持っているが、個別の計画時に出していきたいと考えている。統廃合については、まずは子供達にとってこの計画はどうなのかということを考えている。次に財政的なことを考えているということである。

○基本方向の学校規模の適正化の中に「過半数割れが2年連続して～募集停止を行います」とあるが、2年連続して定員割れした学科は志願者増は見込めないという考えなのか。学科自体をなくすという意識で、学校に提示するのか。

【回答】→この部分は基本事項ということで決まっているが、現行計画にもあり適正規模は4～8という考え方は必要であると確認されている。離島や北部については、高等学校が地域文化の拠点であったり、高校生の存在が地域の活力を引き出している場合があるなど地域の実情も踏まえる必要があるということも盛り込まれている。その上で240人切ったら分校を考える。過半数割れが2年続くようなら学科の存続が関わるので減らすことも考えるという基本的な考え方である。

○辺土名の分校化で普通科廃科と、久米島の園芸科廃科ということも同様な考え方か。学科は少人数でも必要であると思うが、学科自体を無くしていくということで編成を進めていくのか。

【回答】→原則としては、廃科の方向で進めていくということである。しかし、辺土名の場合は北部の広大な地域に学校がなくなったら困るということで、残す方向で検討している。ただ、単独校としては厳しいということである。

○具体的に学校名が出されているが、基本事項というのはこの学校名が出ている学校だけに該当するのか、それとも県全体に該当するということか。

懸念されるのは、保護者の立場で考えてみると、過半数割れが1年目でも廃科になることが予想できるので受験しなくなると思う。

「過半数割れが2年連続して～募集停止を行います。」とここでは断言しているが、その下の部分で「～分校化又は近隣学校との統合を検討します。」「～複数の学校間での再編統合を検討します。」では、「検討します。」になっているが、これには意図があるのか。

【回答】→募集停止を行うことについては、通常の設定数管理で考えていくこともあり、ある程度やらないといけないということもあってこのような表現になっている。ただし、実情としては学校との調整の部分もある。実際に以前に久米島の園芸科はこのような状況になったことがあるが、その時は今後検討するということで実施されなかった。

○前・中・後期と分けて実施することは良い方法だと思う。これまでの再編統合で、一つの計画でも時間がかかり、大変な様子を見てきたが、前期に計画がかたよっている感じがする。大丈夫か。

【回答】→現行計画では項目ごとであったが、いつやるかとい

うことが地域説明でも計画を進めていく上でも大事だと思うので時期ごとにまとめた。児童生徒数の減少を勘案すると時期が決まる。一部、後ろにあった計画が前にきたものもある。

- 学科の割合が「6：3：1とします。」というのは、基本方向の話し合い（懇話会）で決まったわけではないと思う。普通科6割というのは以前の数値であり、現状では大学への進学率も上がっている。アンケートでも6割を越えている。
- 地域によっては普通科が少ないところもある。地域によっては生徒の希望など、いろんな学校が必要ということである。
- 基本方向の議論（懇話会）の中では、一つの例でいうと、中高一貫の連携型、併設型など手を入れないといけない。せっかくスタートさせたのだから、実のりのあるものにしないといけないということを論議したが、基本事項では、「～充実する」ということで終わっている。スタートした学校をもっと支援するという姿勢が少ないのではないか。事務局ではどう考えているのか。

【回答】→中高一貫については、基本方向の総括でいろいろ議論はした。現実的に実施計画を検討する中で伊良部高校と本部高校は生徒数の減少が続くことや連携中学校とのあり方がうまくいかなかったこともあり課題を多く残した。実施計画（素案）では、伊良部、本部は統廃合されてなくなることになっている。しかし、連携型で良い結果も出ているが別の学校を連携型にするとか、併設型にするとか、という計画はない。

ただ、中等教育学校については、（懇話会では）厳しいということもあったが、長期的な中で検討していくとしている。

- 総合学科についても取り組むべきことが多い。単位制にしても様々な課題があるといわれている中で、抜けているのは編成整備の中では手落ちではないか。既存のスタートさせているものを充実させることを唱うことはできないのか。

【回答】→基本方向の中で引き続き検討していかないとけないと総括しているが、具体的なことにはなっていない。現行計画でもそうであるが、編成整備計画にのせるものと、通常の指導助言や事業等で行うものがある。実施されたがうまくいってないものについては通常の教育施策の中で対応していくことになる。

- 今までの反省が生かされないのではないか。スタートさせている事業を充実させるということをしっかり唱った方がよい。そうでないと新しいものをスタートさせるにあたり、また、同じことを繰り返すのではないかと危惧する。

【回答】→陽明高校の福祉科を廃科にして総合学科単科にするという計画も総合学科の充実という考えのものであり、総合学科本来の単位制として強化・充実強化を図っていきたい。沖水は総合選択制の学校になるので、総合学科のカラーは薄れるが、現在の総合学科の系列をもっと簡素化して単位制の充実を図りたい。嘉手納高校についても学校から普通科をなくして総合学科単科にしたいという申し出もあり、総合学科は本来の理念の単位制にして、人的な配置、施設設備の充実を図っていくことを考えており、陽明の（実施計画の）文言にも入っている。

単位制については、フューチャースクールの2校を単位制にし、ICT教育に係る施設整備の充実や教科科目の充実に関しても人的配置が必要であることを載せてある。

○中高一貫教育は充実させるとしながら、久米島は園芸科の廃科により、生徒の多様化に逆行することで後退と思われる。

○4Pの図で北部地区からの流出が強調されているが、理由は3つ考えられると思うが、①進学面を考えたら北部にある学校では物足りない。②希望する学科が北部にない。③他の地域に行くということは経済的な豊かさが整ってきた。ということが考えられると思うが実態調査はあるか。

何が不足しているから、他の地区へ行っているのかを知りたい。

【回答】→なぜそうなっているかの調査は行っていない。地区協議会等で意見交換をしたとき多く出てきたのが、多様化に対応したということで学区拡大したことが、子ども達のニーズで外へ、特に進学に力を入れた他地区の学校へ出て行ったという意見がある。地元の子どもは地元で育てて欲しいということで各学校に魅力ある学校づくりの推進と、中学校側にその学校の特徴を学校説明会で説明して欲しいということ伝えてる。北部地区には普通科、理数科、専門高校もあり学校説明会の開催を進めている。

○生徒数は減少しているが、他地区へ出る生徒は変わらない。何が原因だろうか。

【回答】→なぜ他地区へ出ているかの調査はないが、どのような学校へ入学しているかの調査は行っている。中部地区では、普通科では石川高校、前原高校を、また専門高校では未来工科高校の特色のある工業科を選んでいる。那覇地区では浦添高校、次に浦添商業、開邦高校の英語科、小禄高校、沖縄工業である。普通科は浦添高校、小禄高校、浦添商業は野球部を目指してのものかと類推できる。南部は向陽の理数科、英語科、沖縄水産は野球部ということが考えられる。

○今の回答からすると、北部にはこのような学校がない。魅力がないと受け取って良いのか。それとも北部にもあるけど、魅力がない、活性化していない。ということなのか。

【回答】→学科については北部にもある。今までの特色ある学校づくりという方針からすると生徒、親の期待と高校の実態が一致していないといわざるをえないかと思う。

○生徒は減少しているが、流出の数はそう変わらないというのはどう考えたらよいか。

【回答】→明確な根拠があつてのことではないが、目的意識がある子ども達は一定の数で動くと思うし、また都会志向もあると聞く。

○子ども達の志向が変化しているということか。子どもの進学決定には親も影響を与えていると思うが、親の志向の変化というのはないか。

【回答】→地区協議会等で名護市から出ていたが、中高一貫校をつくってくれないか、上のレベルを目指す進学校つくって欲しいという地域からの要望はあったようだ。

○北部地区での不登校等フューチャースクールに通いそうな生徒はどれくらいいるか。

【回答】→平成23年3月の数値中学3年生の不登校が44人、発達障害24人。圧倒的に中南部地区が多く、中頭教育事務所管内が不登校経験者が200人、発達障害66人、那覇は不登校経験者が214人、発達障害74人、島尻が不登校が73人、発達障害が43人となっている。

○フューチャースクールの通学区域は全県になっているが、数は少ないが北部の生徒はどこに行ったらよいか。北部にも考えた方がよいと思う。北山高校の理数科を名護高校に設置替えし、辺土名高校を理数科にするとあるが、北部地域の子ども達が理数科を希望するという調査結果はあるのか。理数科というのは進学に特化したものか、学科として純粋な理数科の学科か。

【回答】→理数科に限った調査はない。理数科を含めたその他の学科ということでいうと県全体は2.7%、国頭地区では10%で県全体より高い。

○北山の理数科は縮小したという経緯がある。理数科を希望した生徒がどれくらいいるだろうか。理数科よりは他の要因が流出の原因のような気がする。部活の問題とか。学科の問題があったような気がする。理数科というのは進学を意識したものか、それとも純粋な理数科の学科か。開邦の時は大学を意識した学科だった。球陽も同じである。名護高校の理数科はそのようなイメージでとっていいのか。

【回答】→名護高校の理数科は大学進学率向上を図ることを意識している。  
辺土名高校の理数科は環境を意識している。

○北山高校では定員割れを起し、当初の計画はいきづまり状態を示したが、名護では大丈夫という見通しはあるということか。

【回答】→私どもとしてはそういう考えがあって提案させてもらっている。

○理数科として人的配置もしっかりして、中南部には進学に特化した中心的な学校があるように、北部では名護高校の理数科が中心となる気概があって取り組むなら、保護者もとどまり、生徒を説得すると思う。そのような構想ということなのか。

【回答】→名護を含めた地区では進学校設置の要望をもった方々もいる。北部地区にそういった学校があればいいが、わざわざお金を出して那覇へ送っているということである。私立を誘致しようということもあつたと聞いている。県としては、名護高校の大学進学面を強化していこうという考えである。

○名護高校としても要望していてそういった進学校をつくらうということなんですね。

【回答】→そのような声もあつて、ニーズもあると考えている。

○基本方向の中で、普通科と理数科の併置校では理数科の定員割れがあることが課題であると指摘されたが、これまでの反省を元にするなら理数科を設置する意図を明確にする必要があるのではないか。

○話を聞いていると名護高校をすべて普通科として普通科を育てていく方がよいのではないかと考える。理数科のメリットは他の学区から入れるということであるが、名護の場合、北

部地区以外からの志願者は考えにくい。したがってメリットが低い。首里高校、那覇高校にも理数科がないのだから、名護高校は普通科でよいと思う。

○辺土名から普通科をなくすというのは、乱暴ではないかと思う。普通科希望者は名護に行くことになるという時間と金の負担を考えると、考え方としてどうかと思う。

【回答】→広大な地域と経済的なことから残す必要があるが、単独校としては厳しいだろうということである。現在、環境科と普通科があるが生徒数の減少から2クラス維持は厳しい現状がある。環境科は学校も努力して地域とのよい連携もあるが、普通科とすると環境は置きにくいところがある。理数科とするとコースとして設置できる。

普通科や文化系のニーズに対しては、理数科でも科目設定で文化系にも対応可能であることから理数科とした。

○各学校長のヒアリング状況を聞きたい。名護高校の分校となると「部活の機会も増え～」とあるがどういうことか。辺土名高校には寮があるが、どのように活かすのか。

【回答】→9月28日のヒアリングでは、普通科の分校だと特色が出せず、生徒は名護に行ってしまう学校は維持できない。単独存続が厳しいのであれば、辺土名高校の特色である環境科を残す意味で原案がよい。

○校長からの話を聞くと納得できる。他の地区へ出て行く生徒を何とかしたい。と考えているようだが、辺土名高校のPTAの話を見ると経済的に厳しく辺土名高校しか行けないような生徒もいることも考えて欲しい。生徒数が減ってくるとこのような形になるのかな、と理解できる部分もある。

名桜大学の方と話す機会があったが、北部は他の地区と違う、中南部でやっていることと同じようなことをするとできないと言っていた。

○本部高校は厳しい状況であるということであるが、地域では本部高校を活性化しようとして取り組んでいるが、それをどううまく吸収できるか。廃校とする状況であるかどうかである。

【回答】→生徒数の減少が現状としてある中で、統合によって学校規模を一定にし、本部半島全体としての活性化を目指すものである。

○本部高校を北部地区のフューチャースクールにしたらどうか。

○本部高校と北山高校の校舎の年数を聞きたい。どちらが新しいのかも勘案しているのか。逆でもかまわないということか。

【回答】→本部高校に一部新しい校舎もある。場所のこともあるのでいろんなことを考えてこのようになった。

○統合する場合、無くなった学校のことでも考えて校名を変えることがあるが、そのようなことを考えているか。場所は北山高校で、校名を本部高校ということも考えられるのか。

【回答】→校名を変えることは基本的には考えていないが、地域の意見等があれば検討することになると思う。

○活躍した部活があったら、生徒は増えることがあると思うが、魅力ある学校づくりということでの部活動に関してはどう考えているのか。

【回答】→両校の部活動状況の表を載せているが、両校が統合

	<p>すると部活動もさらに活性化することが考えられる ということで載せている。</p> <p>○南部総合実業の計画で、一言も触れられずに南部農林高校との統合案が消えている。南部農林案が消えたことについて触れる必要があるのではないか。</p> <p>【回答】→南農同窓会と意見交換を行ったが、工業科移設の際の敷地の課題や教育課程等の課題解決に向けての理解が得られなかった。</p> <p>○これだけ話題になったものが何も触れられていない、反対したら（計画が）なくなるということで、反対の理由になりかねない。</p> <p>【回答】→次回に、どのように載せるかこの場で相談したい。</p> <p>○総合選択制は生徒の動きが激しい。今の沖縄水産高校の施設では厳しいと考える。神奈川の総合選択制の学校を視察したが、棟がつながっていて生徒が移動しやすい造りになっていた。</p> <p>【回答】→現状の沖縄水産高校の総合学科は、実質、総合選択制であり、これを再編成していく。また、施設整備も考えていく。</p> <p>○再編統合で、沖縄水産の名称は大丈夫か。北山高校の名称を変えろという意見もあったが、これも同窓会の反対は強いと思う。</p> <p>○久米島高校の園芸科廃科については、学科設置時の理由を調べて置く必要がある。</p>
	<p>4、事務局より諸連絡 今後の予定、 (第8回) 11月15日(火) 13階第1会議室</p>
	<p>5、閉会</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>担当課 沖縄県教育庁総務課教育企画班 (渡久山・桃原) 電話 098-866-2705 FAX 098-866-2710</p>